50th Anniversary

稲沢ロータリークラブ週報

承認日：昭和 38 年（1963 年）12 月 6 日　会長：岡田義夫／副会長：三輪卓生
例会日：毎週水曜日　12：30～13：30　幹事：永井伸治／編集：広報会報委員会
例会場：尾張大國霊神社（国府宮）　E-mail　rcinazawa@gmail.com
稲沢市国府宮一丁目 1 番 1 号　URL　http://www.inazawa-rc.org/
事務所：〒492-8213　稲沢市高御堂 1-2-1（林商事ビル 1 階）
電　話：0587-24-0740　FAX：0587-22-7213　事務局携帯電話　090-4853-5262

2013-2014 ＲＩ会長
ロンＤ・バートン

ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

稲沢 RC2013～2014 年度会長方針
社会を光り輝かせる人となろう！

本日の例会プログラム　第 2458 回例会　2 月 5 日（水）
例会場：稲沢産業会館（商工会議所）　幸福例会・会員表彰
第 8 回理事会 13：30～

第 2457 回例会報告 1 月 25 日（土）晴れ No.28

☆点　鐘☆	会長　岡田義夫
☆司　会☆	会場委員長　三根健一 親睦活動委員長　高桑宏幸
☆唱　和☆	君が代、奉仕の理想、手に手つないで
☆ビジター☆	1/29 小島幹人君（一宮 RC）
☆会長挨拶☆	会長　岡田義夫

新年明けましておめでとうございます。この新しい一年が皆様にとりまして佳き年で有る事を祈念致し、ホストクラブを代表して新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年後半から新政権のアベノミクス政策、消費税増税の駆け込み需要と思われる効果でにわかに経済が活況を帯びて来ています。まさに、テイクオフの実感乏しく飛び立った飛行機は、今結果として順調にフライトをしているかのように見えます。しかしながら、各地の工場では、離陸準備不足かと思われる様な甚大な事故が多発しています。この事を見ても、この経済はこの先無事にランディング出来るのかと少々不安を感じます。

この三クラブ合同新年例会の第 1 回開催当初は、日本経済も活況を帯びた時代で、ロータリーの会員数も増加の一途を辿っていたことかと思います。その後、日本経済の減速と比例する様にロータリーの会員数も減少傾向を辿っています。まさに経済とロータリーは大きな関係に結ばれていると言えます。この先の事は誰にも分かりませんが、順調なフライト中に、その先必ず訪れる事を想定して、スマートでセーフティなランディングを目指して頂ける様、期待します。そして、新たなテイクオフに向けての準備に十分に取り組んで頂ければ、企業、ロータリー共に健全にこの一年を送れると確信いたします。

最後に、世界平和とこの一年の三クラブの益増の発展を祈念してご挨拶とさせて頂きます。

～Today’s Information～　◆◆報告事項◆◆

◇◇幹 事 報 告◇◇　報告者：幹事 永井伸治

◆西尾張分区 IM 開催（ﾎｽﾄｸﾗﾌﾞ：一宮中央 RC）
開催日：2014 年 2 月 22 日（土）
場　所：名鉄ﾆｭｰｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ 7 階
名古屋市中村区椿町 6-9　☎052-452-5511
受　　付：15：30～
式　　典：16：00～16：25
各ｸﾗﾌﾞ発表：16：25～17：30
次年度紹介等：17：30～17：50
懇　親　会：18：00～19：20 ｱﾄﾗｸｼｮﾝ　琴・尺八の調べ

★出席報告★　報告者：会員組織委員長　小島洋一

会員総数	55 名	前々回修正	1 月　15 日
出席会員数	44 名 （内免除者　10　名）	出席会員数	37 名 （内免除者　8　名）
欠席者数	11 名 （内免除者　5　名）	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ数	7 名
出席率	88.00 %	修正出席率	91.67 %

☆ 例 会 臨 時 変 更 通 知 ☆

クラブ名	月/日（曜日）時間	メークアップ会場
名古屋清須	2/25（火）12：30	名古屋ﾏﾘｵｯﾄｱｿｼｱﾎﾃﾙ
名古屋城北	2/25（火）12：30	名古屋栄東急イン
名古屋北	2/28（金）12：30	名古屋東急ホテル
岩　　倉	3/11（火）	休会（定款 6－1）

今週のメークアップ	山田典永、加藤健司、林茂夫（B.D）樋田克史（名古屋東南）浅井耕治（名古屋大須） 西村郁夫（一宮中央）矢野慎史（一宮）

☆ 例 会 日 程 ☆

2 月 12 日（水）	2 月 14 日（金）18：00	2 月 19 日（水）12：30	2 月 22 日（土）16：00
例会日変更 （2/14（金）へ振替）	夜間例会　点鐘 18：00 場所：むさし乃	職場例会 場所：ナザテック㈱	西尾張分区 IM 場所：名鉄ﾆｭｰｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ ﾎｽﾄ：一宮中央 RC

※2 月 10 日に IM の登録料￥12,000 の内、個人負担分￥6,000 を預託金から引き落とし致します。

◆2 月 14 日(金)夜間例会　点鐘：18：00　　むさし乃
送迎バス 17：30　神社駐車場　17：40 国府宮駅

◆2 月 19 日(水)ナザテック㈱にて職場例会
地図を配布しました。

◆2014－15 年度のための地区研修・協議会開催
日時：2014 年 4 月 13 日(日)
受付：11：30～12：50
会議：13：00～17：00
場所：ウェスティンナゴヤキャッスル
出席義務者は下記の方です（次年度役職）
・会長・副会長・幹事・会計・クラブ奉仕委員長・会員組織委員長・親睦活動委員長・会長ｴﾚｸﾄ・副幹事・職業奉仕委員長・広報会報委員長・社会奉仕委員長・国際奉仕委員長・青少年奉仕委員長・ロータリー財団委員長・米山記念奨学委員長
※当日ご都合悪い方は代理の方の出席をお願い致します。一般会員の方の積極的なご参加もお願い致します。

◆地区出向委嘱状が届きました。次年度もよろしくお願い致します。

・研修委員会	委員	山名敬一
・インターアクト委員会	委員	鵜飼正巳
・ポリオ・プラス委員会	委員長	横井定
・被災高校生支援委員会	アドバイザー	服部孝根

◆ﾛｰﾀﾘ財団より確定申告用寄附金領収証が届きましたので、本日お配りしました

◆２月のロータリーレートは１ﾄﾞﾙ＝102 円です。

◆２月の IAC 例会は行事の為２月６日（木）17：00 です

◇◇ニコボックス報告（1 月分）◇◇

報告者：ニコボックス委員長　山田典永

1 月末累計	1,890,001 円
ニコボックス	138,000 円
花	15,500 円
くじ	34,000 円

◇◇会員組織委員会報告◇◇

報告者：会員組織委員長　小島洋一

○100％出席表彰者（12 月末調べ）

浅井耕治	20 年 6 ヶ月	横井定	20 年
三輪卓生	8 年 6 ヶ月	小島洋一	8 年
岡田義夫	7 年 6 ヶ月	山田典永	3 年
大崎直文	2 年	鵜飼博信	1 年 6 ヶ月
三根健一	1 年 6 ヶ月		

○12 月中の超過出席者
横井　定

親睦活動委員会報告◇◇

報告者：親睦活動委員長　高桑宏幸

○2 月の誕生日祝福

伊東功二	10 日	成田幸太郎	18 日

○会員夫人誕生日

森	望	夫人	好江	様　1 日
眞下啓二		夫人	桂子	様　1 日
鈴木雅博		夫人	美由紀	様　3 日
川合正剛		夫人	裕美	様　11 日
田川隆行		夫人	美由紀	様　11 日

○結婚記念日

金森英夫	1 日	池田邦雄	2 日

◇2014 年第 28 回　三クラブ合同新年例会　講演◇

演題：「日本における新たなゴルフトーナメントの提案」

～日本男子トーナメントの未来～

講師：プロゴルファー　金子　柱憲　氏

私はプロゴルファーとして長期にわたり海外や国内ツアーを転戦してきた。その中で常々感じてきたことは、多くのトーナメントにおいてメインスポンサーを獲得することがトーナメント開催の重要なファクターの一つになっていることである。

国内ツアーにおいては 1981 年から 1991 年まで年間 40 試合以上の男子ツアーが開催されており、1990 年代初頭の選手会においてはトーナメント数を減らし、開催時期や質を考えるべきではないかという声も聞かれた時期もあった。よって、選手も試合に事欠くことは無く、選手や協会から企業側への配慮やコミュニケーションにはあまり積極的ではなかった。しかし、近年では試合数減少に伴い、協会努力によってスポンサー企業と選手とのコミュニケーションの場を積極的に作り、ジュニア・クリニックなどのジュニアの育成・普及にも力を入れている。

日本のプロトーナメントは男子・女子・シニアともメインスポンサーへの依存度が高いため、広告媒体としての魅力の低下はトーナメントの撤退要因になる。特に男子ツアーの問題点として、2008 年、石川遼選手のプロデビューによりメディア露出はもちろん、観客数及びＴＶ視聴率も劇的に増加しているにもかかわらず試合数に反映されていない。しかし、ゴルフ大国であるアメリカやヨーロッパという地域で行われている男子ツアーに比べ、日本という単一国でありながら世界第 3 位の規模で男子ツアーが行われていることも事実である。

2011 年、日本の男子ツアーは 25 試合行われ、主催スポンサー型、或いは、冠スポンサー型が主なゴルフトーナメントの運営携帯である。主催スポンサー型とは、主催企業がトーナメントに対する資金をほぼ 100%捻出し開催し、冠スポンサー型とは放送局等が主催者となり、企業が特別協賛として冠料を支払い開催することである。

日本男子ツアーのトーナメント予算は、テレビ電波料・制作費や大会規模によって異なる平均額は約 4 億円と言われている。

1973 年、31 試合で始まった国内男子ツアーは成長を続け、1990 年には 44 試合開催されており、米国男子ツアー変わらない試合数であった。その後、経済的な影響もあり、徐々に試合数は減少し近年では 25 試合程度で推移している。それに比べ米国男子ツアーにおいては、40 試合半ばから 50 試合近くのトーナメントを維持している。また、1990 年、25 試合で始まった国内シニアツアーにおいては、1992 年を境に急激に減少し 1999 年には年間 3 試合しか開催されず存続の危機に立たされていた。

国内女子ツアーにおいては、2001 年から男子ツアーの試合数を上回り、現在その差は大きく開いている。これは男子ツアーよりも低コストで開催できる女子ツアーの方がスポンサーにとって高い費用対効果を得ていると判断できる。しかし現在、男女・シニア合わせて 70 試合近くのトーナメントが行われていることを踏まえれば、プロゴルフ界が魅力的なスポーツコンテンツであると言える。

このような日本のゴルフトーナメントの現状の中、国内男子ツアーにおいて、2011 年度に新たなトーナメントモデルである「とおとうみ浜松オープン」が開催された。このトーナメントは、地元名士によって組織された「合同会社ボランタリートーナメント浜松」は主催者となり大会概要にもスポンサー企業が掲載されておらず、チケットの売上によってトーナメントの資金を捻出し「地産池消」を大会コンセプトに揚げた地域密着型のゴルフトーナメントである。

米男子ツアーでは企業がゴルフトーナメントを開催希望の場合、その企業は米男子ツアーではなくＮＰＯに相談しなければならない。何故なら米男子ツアーではＮＰＯがトーナメント主催者を務めることが通例であるからである。このことで開催地域の住民の多くがボランティアとしてトーナメントに携わり、大会運営の根幹にかかわるスポンサーとの折衝やチケットの販売などボランティアの仕事は多岐にわたっている。

トーナメントの収益金は、主催者であるＮＰＯが一部の積立金を除き、地元の団体などに全て寄付される。この運営方法が成立するのは、ボランティアの盛んな米国だからこそ可能であると言える。スポンサー企業も冠スポンサーのほかプロアマなどのイベントのスポンサーなどさまざまな種類の企業参加が可能となっている。そして見逃してはならないのが、この購入費の多くが非課税になっていることである。また、米シニアツアーにおいて、ゴルフ特性を生かした特殊なトーナメントが行なわれている。プロゴルファー・ゲストアマチュア・ジュニア混合型のゴルフトーナメント「ネイチャーバレー・ファーストティオープン at ペブルビーチ」である。このトーナメントは、シニアプロ・ジュニア・アマチュアが同じ組でプレーし順位を競う非常に稀有なトーナメント形式をとっている。そのため、一つのトーナメントでありながらプロ個人の成績・ジュニアの成績・アマチュアの成績・プロとジュニアのチーム成績という 4 つのフォーマットで争われる。このトーナメントは同じフィールドで 3 世代にわたるレベルの違うゴルファーが一緒に参加できると言うゴルフの特性を生かしたユニークなゴルフトーナメントであり、ジュニアの育成・普及の底上げにもなっている

今後のゴルフ界の発展に欠かせないのがジュニアゴルファーの育成と裾野の拡大である。これからのゴルフ界発展にはゴルフに対するイメージングが重要なファクターになり、石川遼や宮里藍のように爽やかで明るく元気なジュニアゴルファーを数多く育てることも大切な使命だと考える。

★第２８回３クラブ合同新年例会★
～例会の部～

～ 懇 親 会 の 部 ～